



新設した再生資源ヤード

ミヤネなど
の非鉄金属
原料の多く
が輸入に依
存している
ことや、新
行ける多機能拠点「地

「ハートフルSITCS
INTBRIDGE」(大
阪市)を会場に、持続
可能な地域づくりにつ
いて、具体的な事例と
関連する各省庁の支援

約1300人が参加し、
今後の地域「コミュニ
ティ」の在り方について知
見を深めた。

恵和興業(本社・仙
台市笹川慎太郎社長)
とスリー・アール(同
市、菅井尚之社長)は
このたび、共同出資で
光学ガラスからレアメ
タルを抽出する新会社
「オプトリング」(同市、
菅井弘社長、資本金
・200・2266)を設
立した。光学ガラス
由来の廃棄物を有価
で買い取り、含有する
ニオブ(Nb)、タンタル
(Ta)、ランタン(La)
ガドリニウム(Gd)等の
レアメタルを抽出し、
国内外に市場供給して
いく。

オプトリングは、廃
ガラス粉末の原料利用
を目指す第1ステッ
プ、NbやTa等の粗精製
品の商品化の第2ステ
ップ、廃ガラスの提供
を受けた事業者へ再度
レンズ等に使用される

光学ガラスからレアメタル抽出

オプトリング 共同出資で新会社を設立

光学ガラスは、1〜30
%以上のレアメタルを
含むとされ、生産工程
で不良材などの廃材が
発生する。粉碎品の製
造スキームとしては、
廃材を計量および蛍光
X線分析に掛け、中間
品として原料の種類分
けを行い、各種ごとに
破碎する。原料種類分
けごとの混合(各ロッ
ト約500kg)、混合
単位原料種類分けごと
の混合(各ロット約5
00kg)の工程を経
て、200℃ドラム缶
に充填し、国内の粗精
製原料貯蔵と海外輸出
に振り分ける。

第2ステップでは、
NbやTa粗精製品を純度
90〜95%で製造・販売
していく。

同社に出資するスリ
ー・アールは、光学ガ
ラス材から、Nb・Ta・La
・Gdを回収する方法、
NbとTaを分離回収する
方法、ホウ素等の不純
物を除去してLaまたは
Gdを回収する方法
等の特許を取得してい
る。同技術を用いた溶
解・ろ過等のプロセス
を経てレアメタルの粗
精製を行う。

第3ステップは、Ta
やNb等の製品を純度99
%以上で製造・販売し
ていくもの。既存の代
表的な精錬方法として
フッ酸を用いて溶解
後、溶解液から溶媒抽
出でNbやTaを分離精製
する方法等があるが、
同社はフッ酸を用いな
いプロセスを開発中
で、高純度化には溶媒
抽出装置を用いた実証
試験等を行っている。

工場系。使用済み製品。金属類



川瀬泰人会長

賀詞交歓会・特別講演会を開催

日本溶剤リサイクル工業会
会員各社で協力して目標達成へ

日本溶剤リサイクル
工業会(川瀬泰人会長)
は1月24日、都内で賀
詞交歓会と新春特別講
演会を開催した。川瀬
会長は「今年の干支は
乙巳(きのとみ)で、皆
さんの重ねてきた努力
が実って花開き、最大
限まで伸びる年となっ
ている。努力した人に
とっては非常に良い年
になるため、われわれ
も努力してきたことに
対して、一生懸命やっ
ていきたい。工業会と
しては、一昨年はど
から環境省のバックア
ップを受け、2030
年には溶剤リサイクル



イベント会場の様子

共助による
持続可能な
地域づくり
」②福岡
県豊前市総
合政策課・
郡司掛ひろ
み氏「関係
性を基盤と
する「心地
良い」協働
の力たち」
Re...ぶせ

間企業が連携した、持
続可能な地域づくりの
実例を紹介した。
第2部では「支援策
ピッチ」として、近畿
管内の省庁地方局が登
壇し、地域における各
分野の支援策や事例を
紹介した。登壇した組
織は以下の通り。▽近
畿厚生局▽近畿総合通
信局▽近畿地方整備局
▽近畿運輸局▽近畿農

量を従前実績より17万
3000ト増やして38
万4000トにしてほ
しいという目標を立て
てもらっているため、
それを粛々と実行に移
す。会員各社が協力し
合いながら自分の得意
を生かし、全体として
その目標を達成できる
ように頑張っていくた
い」とあいさつした。

講演会では、ANA
ビジネスソリューション
の上田紀子氏による
講演が行われ、参加者
はビジネスパーソンの
教養とコミュニケーション
に関するものとして
て、社交場等で活用で
きる奥ゆかしい知識を
学んだ。